

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の歴史と文化		
担当講師名	宮城 弘樹		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年7月28日	振替日	平成30年10月13日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球の歴史・文化に関心のある小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	平成30年8月28日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>今帰仁グスクとその周辺を歩いて学習します。歴史遺産だけでなく、伝統文化、自然、観光産業など地域には学習素材が綺羅星のごとく瞬いています。実際に歩き、歴史を体感することで、学習を再構築することを目的とする。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～11:10	移動車中にて、歴史学習		
11:10～12:10	今帰仁城跡見学		
12:10～13:10	お昼休憩		
13:10～13:40	歴史文化センター見学		
13:40～14:30	今帰仁城跡周辺文化財		
14:30～14:40	休憩		
14:40～15:30	今泊集落散策		
15:30～16:00	移動車中にて、自習時間		
16:00～17:00	移動車中にて、試験		
17:00～17:30	移動車中にて、事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	平常点50%、試験50%		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶシマクトゥバの文芸		
担当講師名	西岡 敏		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月4日	振替日	平成30年8月11日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球文化に関心のあるすべての学校教諭		
履修認定時期	平成30年8月11日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>琉球固有の言語であるシマクトゥバは、現在、消滅の危機にありますが、同時に普及・継承活動もこのところ盛んになってきています。琉球の先人たちは、これまでシマクトゥバによって、オモロ、琉歌、組踊、民謡など、豊かな文学・芸能を生み出してきました。本講習では、沖縄国際大学周辺の文学史蹟を訪ね、シマクトゥバ(琉球語)とシマクトゥバによる文芸について考えます(入場料等の実費が必要となる場合あり)。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:30	オリエンテーション(出欠確認・自己紹介・全体説明ほか)		
9:30～10:30	第1講 シマクトゥバ概説(沖縄中南部方言を中心に)		
10:40～12:10	第2講 シマクトゥバによる文芸概説(現地見学の作品を中心に)		
12:10～13:00	昼休み		
13:00～14:40	第3講 フィールド巡見(バスによる現地見学)		
14:40～16:10	第4講 ビデオ鑑賞と解説(現地見学したフィールドが舞台の文芸を中心に)		
16:20～16:50	自習		
17:00～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケートの回答および回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	試験の点数および受講態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】沖縄の古典芸能と学校教育		
担当講師名	狩俣 恵一		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月5日	振替日	平成30年8月12日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	平成30年9月21日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>琉球・沖縄の芸能の歴史を概観し、琉球王国時代の王府芸能が近代以降に古典芸能として生まれ変わったことを説明する。そして、沖縄の古典芸能と学校教育について、「歌詞」「唱え及びその詞章」について解説し、音楽・所作・衣装・舞台環境について総合的に考察する。また、本講座では、組踊役者をゲストスピーカーとして招いて、所作等の実演を通して学ぶこととする。</p> <p>※受講生が5人未満の場合は閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	琉球語と沖縄古典芸能の言葉		
10:20～11:20	琉球の王府芸能—御冠船踊りと江戸上りの芸能—		
11:30～12:30	王府芸能から民間芸能へ—沖縄古典芸能の成立—		
12:30～13:20	昼食・休憩		
13:20～14:10	沖縄古典舞踊の実演と解説		
14:20～15:20	組踊の実演と解説		
15:30～16:20	学校教育と沖縄芸能の継承		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	試験の点数・受講態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】いまさら聞けない統計学		
担当講師名	齋藤 星耕		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月6日	振替日	平成30年8月9日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	教諭、養護教諭、栄養教諭		
履修認定時期	平成30年8月15日		
講習形態	その他		
講習内容	<p>専門家ならずとも「統計学的に有意」という言葉はしばしば耳にするが、どういう意味だろうか。統計分析は、我が国では高校では僅かしか触れられず、また専門書は精緻な数学で綴られているために敷居が高い。そこで本講義では、「絵を見て理解する・使って慣れる」ことに主眼を置き、フリーソフトを用いて受講者自身が簡単な統計分析を行えるように講義と演習を行う。演習では学業成績の分析に加え、健康科学や食品科学のデータも扱う。</p> <p>※可能な限りノートパソコンを持参してください。 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 統計分析は何のため？		
10:20～11:20	第2講 棒グラフを見かけたら（平均、分散、平均値の差の検定）		
11:30～12:30	第3講 集計表を見かけたら（カイ自乗検定）		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 散布図で表現できるデータの分析（回帰分析入門）		
14:30～15:30	第5講 データを分類&データの背景を探る（多変量解析入門）		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験(実技考査)		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	統計ソフトを用いて、適切な手法を選択して統計分析の課題を解くことが出来る		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】英語音声実践トレーニング		
担当講師名	李 イニッド		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月6日	振替日	平成30年8月7日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校・高等学校英語科教諭		
履修認定時期	平成30年9月1日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>最近国内の英語教育においては、「話す、聞く」の学習に重点を置き、音声による実践的なコミュニケーション能力の育成が重要視されるようになってきた。本講座は国際音声記号などを使って確実に英語の発音を矯正する方法を紹介し、英語指導能力及びコミュニケーション能力の向上を目指す。日本人にとって特に難しいポイントを焦点にあてて英語音声を基礎からしっかり学び、正しい発音、イントネーション、リズム感を修得する。</p> <p>※CALL教室を使用のため、最低限のPCスキルは必要である。 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション(出欠確認)		
9:10～10:10	第1講 セルフアセスメント・子音		
10:20～11:20	第2講 母音		
11:30～12:30	第3講 音節・アクセント・リズム		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 リエゾン・脱落		
14:30～15:30	第5講 句切り・イントネーション・学習ツールの紹介		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	口頭試験		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】地理情報システム(GIS)入門		
担当講師名	小川 護		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月8日	振替日	平成30年8月13日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	中学校教諭、高等学校地理歴史科・公民科・情報科各教諭		
履修認定時期	平成30年9月13日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>今日、カーナビやインターネットの普及により、グーグルマップなどGPSあるいはGISが一般生活に広く普及してきている。この講義では、GPSやGISの基礎的概念にふれたあと、「地理院地図」「地図太郎プラス」および「MANDARA」「グーグルアース」などのGISソフトを使って、地図や各種分布図の作成などのトレーニングをおこなう。あわせて、ネット上で国土地理院や国土交通省などの地図データを入手するための操作方法についてもふれる。</p> <p>※受講希望者が5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
	時間	内容	
	9:00~9:10	オリエンテーション(出欠確認)	
	9:10~10:10	第1講 地理情報システム(GIS)について	
	10:20~11:20	第2講 MANDARAで地図をつくる-人口分布と階級区分-	
	11:30~12:30	第3講 MANDARAでコンビニエンスストアの分布図をつくる	
	12:30~13:20	お昼休憩	
	13:20~14:20	第4講 地図太郎でMY情報地図をつくる-写真と文字情報挿入の地図作成-	
	14:30~15:30	第5講 グーグルアースとGIS-地理教育にグーグルアースを取り入れる-	
	15:30~16:30	自習時間	
	16:30~17:30	試験	
	17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収	
試験の方法	実技考査		
評価基準	実技考査の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
	評価	点数	評価の定義
	S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
	A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
	B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
	C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
	F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】ゲームやパズルを通して学ぶコンピュータの基本原理		
担当講師名	小渡 悟		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月8日	振替日	平成30年8月10日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	算数(数学)・理科・技術の教員, ならびに, IT教育に関心のある教員		
履修認定時期	平成30年8月17日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>ゲームやパズルを通してコンピュータの基本原理を楽しく学べる方法を講習する。コンピュータの進歩はとて早い「使い方」を学んでもすぐに陳腐化してしまう。しかし、コンピュータの「基本原則」はすぐには変わらないことから、この基本原則を学ぶことで「時代が変わっても通用する力」を身につけることができる。</p> <p>本講習ではコンピュータの専門家でなくてもゲームやパズルを通して基本となる情報の表現方法、情報理論、アルゴリズムを修得することを目指す。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:10	オリエンテーション		
9:10~10:10	情報を表す素材1		
10:20~11:20	情報を表す素材2		
11:30~12:30	コンピュータを働かせる(アルゴリズム)1		
12:30~13:20	お昼休憩		
13:20~14:20	コンピュータを働かせる(アルゴリズム)2		
14:30~15:30	コンピュータに何をすべきか教える(手続きの表現)1		
15:30~16:30	コンピュータに何をすべきか教える(手続きの表現)2		
16:30~17:30	試験		
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】スクラッチで楽しく作るゲームプログラミング入門		
担当講師名	小渡 悟		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月9日	振替日	平成30年8月11日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学生のプログラミング教育, IT教育に関心のある教員		
履修認定時期	平成30年8月17日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>世界的なプログラミング必修化の流れもあり, 国内でも義務教育段階からのプログラミング教育の導入が検討されている. 近年, 小学校低学年でもアイコンを組み合わせることで簡単にプログラムを作成できるシステムが増えてきている.</p> <p>本講習では一般の生徒らが教養として楽しめるプログラムの作成方法について学ぶ. 具体的にはプログラム言語「Scratch(スクラッチ)」を用い, ゲーム制作を通してプログラムの基本処理(順次・反復・分岐)について修得することを目指す.</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:10	オリエンテーション		
9:10~10:10	スクラッチの超簡単入門(基本操作)		
10:20~11:20	ねこを歩かせてみよう(基本処理:順次処理, 反復処理)		
11:30~12:30	もし〇〇なら△△をしてみよう(基本処理:分岐処理)		
12:30~13:20	お昼休憩		
13:20~14:20	シューティングゲームを作る1		
14:30~15:30	シューティングゲームを作る2		
15:30~16:30	自分だけのゲームを作る(課題作成)		
16:30~17:30	成果発表		
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	作成した課題と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の地理空間																						
担当講師名	崎浜 靖																						
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市																				
開設日	平成30年8月10日	振替日	平成30年8月17日																				
講習の領域	選択																						
時間数	6時間																						
履修認定対象職種	教諭																						
主な受講対象者	小学校教諭、中学校の社会科教諭、高等学校の地理歴史科教諭																						
履修認定時期	平成30年9月10日																						
講習形態	その他																						
講習内容	<p>社会科・地理教育における課題の一つとして、生徒が実際の地理的空間に展開されている事象と、教科書や地図帳に記載されている事象とを関連させて、「思考」を深めることができないことが挙げられる。それを克服する方法として、地理教育では古くから野外学習(巡検)を実施してきた。本講習では、地形図・空中写真などの地理的技能の習得を基本に据えて、宜野湾市の巡検において上記の課題を検討したい。</p> <p>※午後からは、宜野湾市内のバス巡検を実施する。 ※受講希望者が5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>																						
講習の展開計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:00～9:10</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>9:10～11:00</td> <td>地図(地形図)・空中写真の見方と利用方法</td> </tr> <tr> <td>11:00～12:00</td> <td>沖縄の地理空間－自然・文化・社会－</td> </tr> <tr> <td>12:00～13:00</td> <td>お昼 休憩</td> </tr> <tr> <td>13:00～13:20</td> <td>沖縄国際大学5号館屋上から普天間基地を見学</td> </tr> <tr> <td>13:20～15:30</td> <td>宜野湾市の地理空間を探る－巡検－</td> </tr> <tr> <td>15:30～16:30</td> <td>自習時間</td> </tr> <tr> <td>16:30～17:30</td> <td>試験</td> </tr> <tr> <td>17:30～17:40</td> <td>事後評価アンケート回答・回収</td> </tr> </tbody> </table>			時間	内容	9:00～9:10	オリエンテーション	9:10～11:00	地図(地形図)・空中写真の見方と利用方法	11:00～12:00	沖縄の地理空間－自然・文化・社会－	12:00～13:00	お昼 休憩	13:00～13:20	沖縄国際大学5号館屋上から普天間基地を見学	13:20～15:30	宜野湾市の地理空間を探る－巡検－	15:30～16:30	自習時間	16:30～17:30	試験	17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収
時間	内容																						
9:00～9:10	オリエンテーション																						
9:10～11:00	地図(地形図)・空中写真の見方と利用方法																						
11:00～12:00	沖縄の地理空間－自然・文化・社会－																						
12:00～13:00	お昼 休憩																						
13:00～13:20	沖縄国際大学5号館屋上から普天間基地を見学																						
13:20～15:30	宜野湾市の地理空間を探る－巡検－																						
15:30～16:30	自習時間																						
16:30～17:30	試験																						
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収																						
試験の方法	筆記試験																						
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容																						
評価	点数	評価の定義																					
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。																					
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。																					
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。																					
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。																					
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。																					

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】沖縄経済の現状と課題(3K依存と新10K経済分析)		
担当講師名	前泊 博盛		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月13日	振替日	平成30年8月14日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	平成30年9月30日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>沖縄経済は、基地(Kiti)、公共事業(Koukyoujigyou)、観光(Kankou)の3K依存経済と呼ばれました。いまでも県民も含め全国的には「米軍基地依存経済」との認識が強く、「米軍基地撤退で沖縄経済は破綻」との風説がまかり通ります。実際はどうでしょうか。経済は数字が基本です。教育の現場で、子供たちにどのような事実を伝えられるか。沖縄経済の実態を数字で検証しながら、現状と課題、そして新たなうねりをみせる沖縄経済の「新10K経済」の展望について把握することを目的とします。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:10	講義の概要とオリエンテーション		
9:10~10:10	第1講 沖縄経済の概況(3K依存経済と沖縄振興策)+沖縄検定		
10:20~11:20	第2講 基地経済(基地経済の生成と呪縛、そして可能性)		
11:30~12:30	第3講 観光経済(歴史と実態、課題と展望)		
12:30~13:20	昼食休憩		
13:20~14:20	第4講 新10K経済の概要と展望		
14:30~15:30	第5講 脱基地経済とアジア経済戦略構想		
15:30~16:30	自習時間(質疑応答)		
16:30~17:30	試験(検定)		
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】教育裁判例を読む		
担当講師名	安原 陽平		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成30年8月17日	振替日	平成30年8月24日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	教諭		
履修認定時期	平成30年9月17日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>本講習の目的は、よりよい教育環境のために必要なことを考察することです。主要な教育裁判例を読み、責任の所在を各ケースごとに検討します。もちろん、法的な責任と教育上の責任は完全には一致しません。そのため、法的な責任を知ることが、直接教育上の責任を知ることになるとは言えません。しかし、法的な責任を知ることによって、よりよい教育環境のために果たすべき教育上の責任は何かを考えることは可能です。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 学校事故をめぐる教育裁判例を読む		
10:20～11:20	第2講 学校災害をめぐる教育裁判例を読む		
11:30～12:30	第3講 教職員の処分をめぐる教育裁判例を読む		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 体罰に関する教育裁判例を読む		
14:30～15:30	第5講 その他の主要な教育裁判例を読む		
15:30～16:30	進度調整・自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の内容、授業中の発言等を総合的に評価		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	